



信愛館だより

Vol.130
2019年5月号

発行/ケアハウス信愛館
近江八幡市北之庄町492-2
TEL/0748-32-2220
FAX/0748-33-7555
<http://www.shinaikan.com>
Mail/vories@zb.ztv.ne.jp

みよ、兄弟達が一つになって共に住むことは、
（詩篇133の1）
なんというしあわせ、なんという楽しさであろう

「人とのかわり 心豊かに」

社会福祉法人近江兄弟社地塩会
評議員 丸山 一美

青葉若葉の美しい季節に、新元号が「令和」となり、心新たな時代を迎えました。

「令和」の願いは、人々が美しい心を寄せ合い文化が育つ良き時代で在りたい思いが込められた様です。

昭和39年より40年近く、幼児教育に携わりこれが私自身の使命と思い、大勢の幼な子や保護者、地域の方々にお世話になりました。園生活では、四季折々の自然との触れ合いを重視し、心身の助長に努め、幼児の歓声につつまれ、のどかで楽しかった事が思い出されます。

さて、近年少子高齢化が進み、独居高齢者や高齢世帯が増え、地域での支え合いが重要な課題となっています。微力ながら現在は、児童・民生委員として、訪問や見守り、声かけ活動など日常的な支援に取り組んでいます。ささやかですが、一人ひとりの気持ちに寄り添い安心して住み続けられる、地域になれば幸いです。そこで、行事として「高齢者ふれあいサロン」や「100才体操」に参加していただき「家に閉じこもり、孤立しないよう」人と交流する機会を多く作り、楽しんでいただいております。人とふれあう事で、心の交流をはかり、幸せを実感し、笑顔で暮らしていくきっかけになればと願っています。

また、今日まで何回か信愛館へ訪問させていただきました。花壇の美しい心安らぐ環境の中、職員一丸となって、日々入居者の方々の思いを汲み取り、対話を心がけておられました。又、毎日の食事、楽しい行事の工夫、一人ひとりの見守りにより、安心、安全な暮らしが出来、居ここの良いケアハウスを営んでおられると思います。

こうしたいろんな学びの機会を与えていただき、今後も人とのかわりを大切に、支え合いの安心の中で、信頼がうまれ、心豊かに互いを大事にしていきたいと思っています。



キリスト教 あいうえお「アヴェ・マリア」

近江金田教会牧師 横田 明典

入門的なことをお伝えする「キリスト教あいうえお」が2巡目となりました。今回もよろしくお願いします。

最近では「アヴェ・マリア」と表記するようです。世界の3大アヴェ・マリアとしてグノー（バッハの前奏曲にグノーが主旋律を付けたもの）、シューベルト、カッチーニのものが有名ですが、他にも多くの作曲家が曲を作っています。中には日本人によるものもありますが、日本ではグノー、シューベルトの曲がよく知られていると思います。

「アヴェ」というのは、ラテン語で「こんにちは」というような呼びかけの言葉で、新約聖書ではルカによる福音書1章28節に、天使がマリアに受胎告知際の「おめでとう、恵まれた方」という言葉で登場します。

カトリック教会では、「アヴェ・マリア」というと聖母マリアへの祈りのことを指します。古い時代の祈りが、優しい旋律に乗せて、時代を超えて、今では世界中の人に愛される曲となっているのは不思議なことにように思います。最近では「音楽葬」という葬儀の中で演奏されることもあるようです。

◆ お餅を食べる会（12月28日）

今年は、みたらしあんとう大根おろしの2つの味を用意し、皆さん美味しそうに召し上がられていました。



◆ ぜんざいの会（1月13日）



今年もぜんざいの会を開催。温かくて美味しいぜんざいに皆さん大満足です！



◆ 金亀酒蔵ツアー（2月25日）

犬上郡豊郷町にある
金亀酒蔵見学に出掛けました。



蔵元の方から
説明を聞いています！



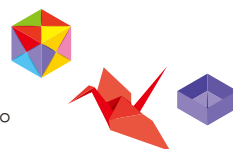
◆ お寿司を食べる会（3月20日）

お寿司を食べる会を開きました。
皆さん、おいしそうに
召し上がられていました！



◆ パズル・折り紙を楽しむ会（3月24日）

知恵の輪やパズル、折り紙を試行錯誤しながら楽しまれました。



◆ お花見ツアー（4月8、9日）

お花見日和！！
綺麗な桜を
見ることができました。



吉野工業所



安土城跡

編集 後記

寒かった冬も過ぎ、暖かく過ごしやすい季節になりました。
新年度もスタートし、あっという間に1ヶ月が過ぎました。
今年度も初心を忘れず、入居者の皆様により良い生活を送って
頂けるよう頑張っていきます。

